

幼稚園と尋常小學校との連絡に

關する資料調査(四)

東京市保育會

(七) 小學校より幼稚園に對する希望

小學校より幼稚園に對していろいろ希望があつたが、こ

れを便宜上 (1) 保母に關して (2) 保育内容に關して

(3) 躰方に關して (4) 養護に關して (5) その他の五項

目に分類して出来るだけ原文のまゝを次にあげた。

(1) 保母に關して

1、保母の素質向上に心がけられたし (一三)

2、保母は小學校低學年の授業を參觀し、教科書にも目を通されて小學校教育の内容をも承知する必要あり (一一)

3、保母の地位を高め當局竝に社會に認識させる必要あり (一一)

4、理論と實際を深く眞劍、不動、不拔の信念の上に立つ保育をされる様研究をのぞむ (一一)

5、本市の如き都會生活をなす市民にまつて幼稚園の存

在は必要なるも、之に伴ふ大切なる保育が適切でない爲め却つて害をなす點はなきか (一一)

(2) 保育内容に關して

1、日常の保育を小學校の學科の指導にまで立入らざるやう、即ち智的指導の部面を減じ、入學後の慢心を防ぐ様努力されたし (一六)

2、子供の生活をそのまゝ實踐させることが子供の生活を向上させる所以である。圖畫、手工なども、子供の思想や個性がそのまゝ表現される様、創作的に指導して欲しい、家庭の意欲に迎合して技巧中心にならぬやう注意されたし (九)

3、製作々業は結果よりも過程を重んぜられたし (一一)

4、見る態度、話す態度、聞く態度、作業する態度等、基礎的指導に一層注意されたし (一一)

二七

5、文字や数の勘定等は強いて教へぬやう (一一)
 6、個別的取扱ひにはやり過ぎ、一齋取扱ひの邪魔になるまでの自由生活は如何 (一二)

7、現在の小學校組織より見て幼稚園修了前に於ては分科的學習を加味され、よりよき學習態度を作らるやう、注意されたし (一一)

8、或る程度の思考を口頭によつて、發表表現出来るやう指導されたし (一二)

9、唱歌遊戲は明朗なるものを選び、その要目を小學校と聯絡して系統的にされんことを希む (一一)

(3) 躰方に關して

1、子供の取扱ひがあまりに親切に過ぎ、あまやかし過ぎはせぬか、そのためか依頼心が強い (七)

2、幼稚園教育をうけた子供は一般に他の子供に比べて我まゝで、おせつかいで、氣が散り易い、特に行儀作法に注意されたし (三三)

3、訓練は自由の中に統制を要求する。のびのびとした中に或程度の鍛鍊も必要であらう (三三)

4、訓練上の躰も教育者の便宜のためや、外間にまらはれて子供の活動性を傷つけてはならぬ (一一)

5、めぐまれた環境に於かれたる幼稚園では豊富に學用品を給與されるためか、物品を粗末にするの感あり

物の扱ひ方、仕舞ひ方に注意されたし (一二)

6、小學校の入學當時遅刻を平氣でするもの多し、この點日常保育の上に注意ありたし (一二)

7、子供の訓育に當つては徒らに西洋かぶれせず、幼稚園教育の規準を祖國に求め、日本精神の上に教育されんことを希む (一一)

8、幼稚園教育をうけた子供は、團體的に、社會的にながめて特殊な長所さもないふべき點がある、一段の奮起を望む (一二)

9、手工や圖畫を指導するよりも訓練に重點をおき大自然に親しむ機會を多く作られたし (一一)

(4) 養護に關して

1、幼児相當の體力的鍛鍊が必要にして、特に體位増進に注意され、元氣な明朗な子供にして欲しい (一一)

2、出来るだけ室外に養護施設を講じ、都市兒童の惠まれないる空氣と日光とに接せらるゝ様考慮されたし (一一)

3、衛生的訓練例へば歯みがき、偏食矯正等に最善をつくされたし (三三)

4、慢性的疾患の治療を入學前に於て施してもらひたし (一一)

5、幼稚園に於ける養護上の施設は適切効果的なものが
多い、これを習慣つけて欲しい (一一)

(5)その他

1、現在に於ける幼稚園の設備及經營は、餘りに間に合
せ式にして殺風景な保育室、乾き切つたアスファル
トの運動場等を多くみる、黒い土と緑の草、紅の花
の世界がほしい、大いに環境の整理を要望す

(一二)

2、幼稚園の園舎を小學校の校舎と別にして欲しい

(一二)

3、運動場が同じ場所であるため體操の時間幼児が邪魔
になる場合が多い、幼児と兒童との遊び場所は別
あつて欲しい (一二)

4、幼稚園はその目的に向つて保育精神を確立し、それ
が遂行されんことを望む、徒らに小學校への追隨迎
合は不可である、大乗的見地より指導完成の上は小
學校教育と背馳することあるべからず (一二)

5、父兄及子供の中には幼稚園教育を受けたことを自慢
に思ふものあり、教育上に及ぼす影響を考へて、大
いにこの點に留意されたし (一二)

6、毎日朝會、晝會如きものをされて一日に一度、一緒
にお話を聞いたり、歌をうたつたりしては如何

7、出来るだけ無邪氣な天真爛漫な子供にして欲しい (一一)

(八)幼稚園より小學校に對する希望

(一)幼稚園と合同して兒童に關する研究會及び懇談會を開
催されたし。

訓導と保姆が子供に關した事柄を打合せて話合つて教育
上の資料とする必要だと思ふ、教育の目的に於て何
の異なることがあらう。幼稚園の保姆が一年乃至二年の間、
家庭の延長として子供に接して來た保育の結果を報告した
り、又小學校側から教育方針なり保育上の缺陷なりを御教
示いたゞいて互に懇談研究して斯道のために邁進すべきで
あると信するのである。今回の調査に於て市内七十八校の
御意見を聴したところ、大部分贊成の回答を得た。次にそ
の例を擧げれば

1、この時代に於ける教育は一生を通じて最も陶冶され
易い時期であるだけに幼稚園と小學校との連絡を密
接にして、一貫した教育方針のことに指導することに
は必要である (二五)

2、子供に關しての懇談會及研究會を入学當初又は一學
期末或は年度末に於て開催するならば、各兒の個性、
環境、家庭等を理解する上に、且保育反省の資料と

するために極めて有効である。 (二九)

3、訓導は幼稚園教育の目的及内容の如何を又保母は一年生の教科の教授過程等を充分に認識してその指導方法の懸隔を少くする様努めることが大切である。

4、兒童の發育過程を知るため必要である。 (一一)

(2) 低學年擔任訓導並に保母の參觀交換會を開催せられたし、

小學校教育に幼稚園保育は具體的な手段方法に於て自らその内容を異にするものと思ふ。

小學校に於ては子供の能力を陶冶して或る標準までは無理にも引きあげて行かうとする積極的な態度が必要であるに反し、幼稚園に於ては子供の生れつきも遊びの本能を整理して、調和のされた心身の發達を、善良な性情を培つて行かうとするのである。

隨つて子供の生活状態は少からず違つてゐるものも考へることが出来る。雙方互に暇をつくつて生活状況を參觀して仕事の内容を理解し合ふことは年齢の接近した低學年兒童及幼稚園幼兒の密接なる連絡を圖る上に最も大切である。然しその方法については大いに研究すべきである。

前記の如く今回の調査に於て大部分必要なりとの回答を得た。次にその例をあげれば、

1、縦の連絡を圖つてお互にその前後を理解し合ふことは、その教育價値を大にして教育の能力を高めることになる (一一)

2、保母の低學年參觀を希望し、特に低學年の研究授業のある場合は是非參觀されたい (一五)

3、隨時自由に參觀を希望する (四)

4、幼稚園の保母は常に幼稚園幼兒の擔任者なるも、小學校一年生の擔任者は年々交代して大抵の場合はこの高學年擔任者である場合が多い、この點より考へて幼稚園を參觀することは必要だと思ふ (一一)

5、既に實行してゐる (三)

(3) 一學年の學習を合科的に考慮されたし

今回の調査に於て御意見を伺ひその内で同じ内容をもつものを次の如くまとめ得た、その例をあぐれば

1、子供の生活に即し學習作業に變化を發展を考慮し、更に心身の發達に無理を少くして綜合學習することは智能及人間教育の行はるゝ所以にして合科的取扱ひの必要とするところである。 (一八)

2、既に必要を認め實行しつゝある。 (一五)

3、幼稚園より小學校兒童としての第一學期間の生活連續は極めて自然に合科的ならざるを得なくその色彩

も濃厚である。然し各教科のもつ目的達成のため次第に分科的取扱ひをなす様になる (九)

4、合科的取扱ひは必要であり又望むところであるが現在の制度下に於ては深い研究を要す (九)

5、必要ではあるが實行は困難にして危険である (六)

(九) 批判及反省

全體を通して見るに小學校側に於て云はん處は、いづれも幼稚園児が豊富な生活經驗を持つ爲に、又團體的生活に馴れきつてゐる爲に、學習指導上種々な困難を伴ふ處から、學習態度に多くの悪い實例を示されて幼稚園側に反省を促してゐるが、勿論これは幼稚園側としても大いに研究する必要があると同時に小學校側としても今一段に御考慮を願ひ度いと思ふ。

現在の小學校組織に於ては幼稚園児が一學級の1と弱に過ぎぬ故に、一齊的取扱をされる場合、特別なる考慮をされて指導されぬ時は入學の喜びにもえた幼児等に、不足不満の感じを持たせるは當然の事にてその結果、いろいろの惡評を受けねばならぬ事は、幼稚園児としても、保育者側としても實に遺憾に思ふ處なり。

小學校側としては、その學級經營上、級の成績如何に全力をそゝがれるのは當然の事ながら、眞の幼児童教育の立

場から、入學當初はつきめて、個人的指導に重きをおかれ、遊びの誘導にも、生活訓練にも充分な御考慮を煩した。然る後に徐々に學習態度を訓練されたならば實例にも示されてある如き、幼稚園時代に訓練づけられた種々の良習慣を相俟つて必ずや低學年教育の實績を擧げられる事と思ふ。

幼稚園側としても是等學習の基礎ともなるべき諸事項の實例を再度反省し「幼きが故に」この通念から知らずの内に陥り易い種々の缺陷を、保姆たる者、心して考へねばならぬ事と思ふ、慎重考究して、體力、精神力共に健全なる第二國民の芽を培ふ重任に努力、邁進すべきである。

いづれにせよ現在の小學校低學年教育の内容に幼稚園教育の内容に、ある懸隔のある事を認められるは止むを得ざる事にて、一日も早く幼稚園教育に義務制の決定されん事を望む、そは小學校と幼稚園とを結ぶ何よりの方法なり。

以上